

**第56回神奈川県高等学校総合体育大会バスケットボール競技**  
**兼 平成30年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技神奈川県予選**  
**兼 第71回全国高等学校バスケットボール選手権大会神奈川県予選 要項**

- 1 主催 神奈川県高等学校体育連盟、(一社)神奈川県バスケットボール協会
- 2 主管 神奈川県高等学校体育連盟バスケットボール専門部
- 3 後援 神奈川県教育委員会、各市町村教育委員会
- 4 期日 支部予選会 平成30年5月12日(土)・13日(日)・19日(土)・20日(日)  
県大会 平成30年5月27日(日)・6月2日(土)・3日(日)・9日(土)・10日(日)・  
16日(土)・17日(日)・23日(土)・24日(日)
- 5 会場 支部予選会 各支部高校体育館 他  
県大会 平塚総合体育館、県内各支部高校体育館 他
- 6 競技方法 (1) (公財)日本バスケットボール協会「2018～バスケットボール競技規則」による。  
(2) 支部予選は、関東高等学校バスケットボール大会県予選会において、男女上位8チームを除き各支部において8ブロックのトーナメント方式で行う。  
(3) 県大会は、関東高等学校バスケットボール大会県予選会の男女上位各8チームと、支部予選を勝ち上がった男女32チームの合計40チームによる4ブロックのトーナメント、及び各ブロックの1位による決勝リーグを行い順位を決定する。  
(4) リーグ戦における順位の決定方法は次の通りとする。  
ア 順位は「勝ち点」により決定する。勝ちチームは勝ち点2、負けチームは勝ち点1、ゲームを没収されたチームは勝ち点0とする。  
イ 2チームの勝ち点が同じ場合は、「当該チーム間」の対戦成績により勝者を上位とする。  
ウ 3チームの勝ち点が同じ場合は、「当該チーム間」の対戦成績において「得失点差」が多いチームを上位とする。(得失点差=総得点-総失点)  
エ 3チームのうち2チームの「得失点差が同じ」だった場合は、「その2チーム間の対戦成績」において勝者を上位とする。  
オ 3チームとも「得失点差が同じ」だった場合は、「当該チーム間の対戦成績」において「総得点が多いチーム」を上位とする。  
カ それでもなお上位チームが決定できない場合は、「決勝リーグ全試合得失点差」➡「決勝リーグ全試合の総得点が多い」順で順位を決定する。
- 7 参加資格 (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。  
(2) 選手は、神奈川県高等学校体育連盟加盟校の生徒で、当該競技要項により大会参加の資格を得た者に限る。  
(3) (一社)神奈川県バスケットボール協会を経て、(公財)日本バスケットボール協会に加盟されたチーム及び登録された競技者であること。  
(4) 年齢は平成11年(1999年)4月2日以降に生まれたものとする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。  
(5) チームの編成において、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。  
(6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む統合チームによる大会参加を認める。  
(7) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる。)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、神奈川県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。  
(8) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する高等学校長の承認を必要とする。  
(9) 参加資格の特例  
ア 上記(1)、(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加を満たすと判断され、神奈川県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。  
イ 上記の(4)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。  
「大会参加資格の別途に定める規定」
  - 1 学校教育法第72条、115条、124条、134条の学校に在籍し、神奈川県高等学校体育連盟会長に参加を認められた生徒であること。
  - 2 以下の条件を具備すること。
    - (1) 大会参加を認める条件  
ア 全国高等学校体育連盟及び神奈川県高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解しそれを尊重すること。  
イ 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校による混成は認めない。

- ウ 各学校にあっては、各支部の予選から出場が認められ、県大会への上場条件が満たされていること。
  - エ 学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問（教育職員または部活動指導員）の指導のもとに適切に行われており、活動時間が高等学校に比べ著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
- (2) 大会参加に際し守るべき条件
- ア 大会要項を遵守し、競技種目別大会申し合わせ事項などに従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
  - イ 大会参加に際しては、責任ある教育職員または校長から引率を委嘱された部活動指導員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
  - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。
- 8 参加制限 (1) チーム編成は、コーチ1名、アシスタント・コーチ1名、マネージャー1名、選手15名以内とする。
- (2) 外国人留学生の出場枠について
- ア 学校教育法第1条に規定する高等学校卒業を目的として入学している生徒であること。
  - イ 在籍校が、神奈川県高等学校体育連盟に加盟していること。
  - ウ 平成11年（1999年）4月2日以降に生まれた者であること。
  - エ 短期留学生は除く。
  - オ 人数は、エントリー（15名）の内2名を上限とし、コート内でプレーできる選手は1名とする。
- 9 引率監督 (1) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。また、引率責任者は、コーチ又はアシスタント・コーチのいずれかを兼ね、選手の行動全てに対して責任を負うものとする。
- (2) コーチ又はアシスタント・コーチは、校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。ただし、神奈川県における規定が定められ、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。
- 10 表彰 男女各1～4位を表彰する。
- 11 参加料 1チーム 5,000円(合同チームの参加料については、参加校で均等に支払う。  
2校の場合は2,500円、3校の場合は1,700円、4校の場合は1,250円、5校の場合は1,000円)  
各支部の代表者会議及び抽選会の時に支部会計担当者に直接渡してください。  
(当日欠席の場合は、会計担当者にご連絡ください。)  
なお、県大会に直接参加するチームは県大会の代表者会議の際にお持ちください。
- 12 参加申込 各学校長の責任において、所定の申込用紙に必要事項を記入の上、各支部競技担当者へ4月25日(水)までに申し込むこと。なお、合同チームとして参加希望の学校は参加申込書下段にその旨記すこと。  
(申込先は別紙参照) 不参加でも期日までにその旨連絡すること。
- 13 代表者会議及び抽選会 各支部とも5月2日(水)午後2時より下記の場所にて行い、代表者会議終了後組合せ抽選を行う。
- |              |               |
|--------------|---------------|
| 東支部：市立高津高等学校 | 西支部：県立藤沢西高等学校 |
| 南支部：市立桜丘高等学校 | 北支部：県立大和高等学校  |
- ※県大会の代表者会議・抽選は5月23日(水)午後2時30分より市立横浜商業高等学校で行います。
- 14 その他 (1) 登録競技者は競技者登録証を必ず携帯し、主催者または主管者から求められた際には、これを提示しなくてはならない。
- (2) 男女各上位2チームを全国大会（開催地：愛知県 男子：名古屋市・一宮市、女子：名古屋市・小牧市）に県代表として推薦する。
- (3) 大会申込人数には制限がないので、記入欄が足りない場合は別紙に記入して申し込むこと。
- (4) ルールに従ったユニフォーム（色・模様・番号の大きさなど）を着用すること。また、試合会場には常に濃・白の2色を持参する。
- (5) 試合日程は学校行事といえども変更しない。
- (6) 追加申込がある場合は、追加登録用紙に記入し、試合当日試合会場のコート主任に提出すること。
- (7) 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者が行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
- (8) 今大会の結果を全日本バスケットボール選手権大会県予選への推薦の参考とする。
- (9) 今大会の運営上の問い合わせは、支部予選は各支部競技担当者へ、また県大会については下記までお願いします。

競技担当：県立厚木北高等学校 薬師 弘明 TEL046-241-8001